

# 品質保証研究会 第110回幹事会 議事録

’07-10-24

1. 日 時 ’07年8月22日(水) 15:30~18:10
2. 場 所 日本原子力産業協会 第2会議室
3. 出席者 石橋, 田中, 永田, 石川, 中村, 鈴木, 今村, 矢作, 渡邊, 武田, 清川, 岡澤, 奈良(記)  
(順不同敬称略)
4. 議 題 第109回幹事会議事録確認  
平成19年度活動計画と実績審議  
QASGニュース59号執筆状況確認  
第30回見学会実施報告確認  
ホームページの改善とコンテンツ更新審議  
その他
5. 配布資料 1) 品質保証研究会 第109回幹事会議事録(案) [石川]  
(幹110-) 2) 品質保証研究会 平成19年度活動計画及び実績 [鈴木]  
3) QASGニュース 平成19年度~20年度 執筆計画及び実績 [鈴木]  
4) 品質保証研究会 平成19年度役員役割分担 [奈良]  
5) QASGニュース59号 [鈴木]  
6) 第30回見学会報告(恩賜財団 済生会横浜市東部病院) [矢作]  
7) 品質保証研究会ホームページについて [矢作]  
8) エラーマネジメント関係HP増設計画(案) [清川]  
9) HP更新内容について【報告】 [矢作]  
10) 第4回社会技術研究シンポジウムプログラム [渡邊/岡澤]

## 6. 議事概要

- 6.1 資料(幹110-1)に基づき, 第109回幹事会議事録(案)の内容を確認した。
  - ・第31回見学会の担当を今村監事から今村幹事に訂正すること。
  - ・議事録として上記訂正を条件に承認され, HPに掲載することにした。
  - ・6.8項の議事に基づき, 規約(会則)内容を確認した結果, 平野幹雄氏を特別会員として本会の活動を賛助頂くことで, 幹事会として承認することを確認した。
- 6.2 資料(幹110-2)に基づき, 平成19年度活動計画及び実績を検討した。
  - ・次回通常総会は, H20.5.28.(水)で於経団連会館を仮予約したことを確認した。
  - ・第31回講演会について至急調整確認を実施することにした; 弁護士 or 四方教授(企画調整担当; 石橋副会長・奈良幹事)。
  - ・各グループの研究会活動状況を確認した  
(第1グループ;7/3 第1回幹事会、8/22 第2回幹事会、10/23 第3回幹事会)  
(第2グループ;6/26 第1回幹事会、7/13 第1回研究幹事会、8/23 第2回幹事会)
- 6.3 資料(幹110-3)に基づき, QASGニュース平成19年度執筆計画を確認した。
  - ・特にコメントなし。講演会、見学会の役割担当者が参加出来ない時は各担当から他の幹事と調整の上 代行者を決定すること。
- 6.4 資料(幹110-4)に基づき, 前回の幹事会決定内容を纏めた平成19年度役員役割分担が紹介された。
  - ・会計幹事の今村氏のフリガナをイマムラ ケイに訂正することを確認した。
- 6.5 資料(幹110-5)に基づき, QASGニュース59号の内容確認を実施した。  
以下内容の見直しを実施後、HP掲載と発行を実施することを確認した。
  - ・目次および定例研究会の活動計画のグループ名を第一、第二から第1、第2に訂正すること
  - ・通常総会時の2.定例活動会活動報告を定例研究会活動報告に訂正すること。
  - ・堀井教授の特別講演の2.マスローの欲求階層説について、「生存のための生理欲求」と「安全の欲求」とを取り消し線箇所を削除すること。また、3.安心に関する研究例の紹介で付番を⑥⑦⑧から⑤⑥⑦に訂正すること。更に、質疑の<A3>の文書の末尾の「知」を<A2>の「リスク認知の」知に移

動訂正すること。

- ・ 新役員の紹介の写真右の説明文で、宮越直樹氏の「直樹」を追記すること。

6.6 資料(幹 110-6)に基づき、第 30 回見学会報告の紹介があった。

- ・ 3. デスカッションの内容も含め全体的に会員の参考になるやり取りがあれば内容記載の追記等見直しを検討することを確認した。

6.7 資料(幹 110-7,8)に基づき、ホームページ見直しの内容について審議確認を実施した。

- ・ HP の公開について、会則・定例研究会(案内、計画)は一般公開として、定例研究会(議事録)は会員までの公開とすることを確認した。
- ・ また、清川氏から提案の「エラーマネジメント関係のHP増設計画(案)」は下記確認事項に基づき進めることで幹事会として了承した。(注\*)

- ① 増設費用は、見積条件の確認、金額折衝をHP担当の矢作氏の方で再確認し、結果を次回幹事会で報告を得ることにした。但し、実質の作業は新たな問題が発生しない限り進めることを確認した。
- ② HP構成の内容は、清川氏に初期案の作成(含む登録資料の作成の同意)およびその後の運用を矢作HP担当の補佐役としてお願いすることを確認した。
- ③ 品質保証研究会会員とは別にHPアクセスだけの登録会員(EMに対する外部の声の吸い上げと新規研究会会員の獲得を目的に)を新たに設ける案が提示されたが、研究会会員に入会した人に対するHPとすることを確認した。

6.8 資料(幹 110-10)に基づき、東大堀井教授から連絡のあった「第4回社会技術研究シンポジウムプログラム」を紹介し、参加を要請した。

6.9 今後の予定

次回幹事会 ; 10/23(火) 15 : 30 ~

以上

(注\*)追記事項 : 本件は一時取り下げとして、後日必要により再審議とする。